

第13回 供用期間中検査検討会 議事録

1. 開催日時 : 平成18年 6月22日(木) 13:30~16:15

2. 開催場所 : (社)日本電気協会 4階D会議室

3. 参加者 : (順不同, 敬称略)

□ 出席者: 石沢主査(東京電力), 野村副主査(関西電力), 小田倉(日立), 小林(中国電力), 佐々木(日立), 佐藤(発電技研), 師尾(日本原電), 高柳(東京電力), 原田(原子力エンジニアリング), 藤澤(原子力安全・保安院), 枡(電源開発), 原田(九州電力), 稲垣(中部電力), 三原田(JNES), 笹原(電中研), 米山(発電技研)

(計16名)

□ 代理出席者: 山本(東芝・成瀬), 柴山(MHI・斎藤), 西田(GEII・羽田) (計3名)

□ 欠席者: 加藤(JSNDI), 笹田(北海道電力), 清水(東北電力), 東海林(IHI), 西田(北陸電力), 新田(富士電機システムズ), 羽田(丸紅), 溝淵和食(四国電力), 綿谷(WH)

(計9名)

□ 常時参加者: 岡田(パプコック日立), 島田(海上技術安全研究所) (計2名)

□ オブザーバ: 宮澤(産報出版), 清水(MHI) (計2名)

□ 事務局: 長谷川(日本電気協会) (計1名)

4. 配付資料

資料 13-1 供用期間中検査検討会 委員名簿

資料 13-2 第13回供用期間中検査検討会 議事録(案)

資料 13-3 第20回原子力規格委員会 議事録(案)

資料 13-4 原子力規格委員会 構造分科会 平成18年度活動計画

資料 13-5-1 JEAG4207-2004 軽水型原子力発電所用機器の供用期間中検査における超音波探傷試験指針アンケート結果集計表&条項等修正への採否(BWR関係)

資料 13-5-2 JEAG4207-2004 軽水型原子力発電所用機器の供用期間中検査における超音波探傷試験指針アンケート結果集計表&条項等修正への採否(PWR関係)(案)

資料 13-6-1~5 JEAG4207-200X 改定案(第2章、第4章)

資料 13-7 JNES-SS レポート ニッケル基合金溶接部の非破壊検査技術実証

5. 議事

(1) 委員変更承認と委員出席者数の確認

事務局より、本検討会委員総数28名に対して代理を含めた本日の委員出席者数は19名で、規約上の決議の条件である『委員総数の3分の2以上の出席』を満たしていることが確認された。

(2) 前回議事録(案)の確認

資料 No.13-2 前回議事録(案)について、特にコメントなく了承された。また、資料 No.13-3

に基づき平成 18 年 5 月 18 日に開催された第 20 回原子力規格委員会の審議状況が紹介され、資料 No.13-4 の構造分科会 平成 18 年度活動計画も併せて紹介された。

(3) JEAG4207-2004 アンケートの集約結果について

小田倉委員及び柴山委員代理より、資料 No.13-5-1,13-5-2 に基づき、規格改定要望抽出のためのアンケート結果から JEAG4207-2004 への改定の採否と検討結果が説明された。

PWR 分は、採否提案のうち、否認意見について検討し、採否を明確にしていくことで、改定作業を進めることとした。

BWR 分は、全アンケートに対して採否が検討されていないことから、6/28 までに BWR メーカー委員で検討し、その結果を事務局より各委員に配信し、7/14 までに確認を得ることとした。この結果を次回検討することとした。

また、アンケート質問者への返信は、以下の留意点を反映することとした。

- a . 改定採否の理由は明確に記載する。(図解等含めて)
- b . 回答者の氏名は記載せず、事業所名のみとする。

(4) JEAG4207-2004 改定案の検討について

山本委員代理より、資料 No.13-6-1 ~ 5 に基づき、JEAG4207-200X 改定案(第 2 章、第 4 章) の構成イメージが説明された。この改定案の構成について以下の意見を考慮した上で、了解された。

- a . 変更理由が確認しやすいように変更理由欄を追加する。
- b . 変更箇所のみを記載する。
- c . 改定案作成の方法として、本文と解説をセットで記載してその中で本文と解説を棲み分けできるようにする。正式改定版の構成は改定原案作成時に決定する。

これらの意見とアンケート結果の採認意見を反映して、これまで担当していたメーカー委員で作成することとし、次回検討会で検討することとした。

(5) その他

1) NNW (JNES 安全研究) の動向について

三原田委員より、資料 No.13-7 に基づき、NNW (JNES 安全研究) の平成 17 年度成果の概要が報告された。

管台とセーフエンドの異種金属溶接継手の超音波探傷試験方法として、JNES-SS レポート (JNES-SS-0404) に追加した JEAG4207-2004 への反映項目の内容は、

- ・周方向探傷 (重荷溶接線方向に直交する欠陥の探傷) においては縦波斜角法を用いる。
- ・周方向探傷に用いる探触子の屈折角は、欠陥開口部に 45 ° ~ 60 ° 位で入射する角度を決定する。

上記を今回の JEAG4207-200X 改定案に含めることとした。

2) PD 資格試験の結果報告

笹原委員より、今年 3 月 ~ 6 月にかけて行なわれた PD 資格試験の結果について、受験者

18名に対して、9名が立派な成績で合格されたことが報告された。7月の保全学会で紹介され、ホームページにも掲載されるとのこと。

3) 次回開催

次回検討会は平成18年8月24日(木)に開催する予定。

以上